



北星学園大学は
開学60周年を迎えました。

大谷地だより

Vol.87

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 岡田 義明
編集責任者 北星学園大学同窓会事務局
印刷 岩橋印刷株式会社

北星学園大学 開学60周年【大学60年の歩み】

～地域・一般の方への記念公開講座やセミナーを行いました～

1962年、南5条校地の仮校舎で文学部1学部からスタートした北星学園大学は2022年に開学60周年を迎えました。開学からのキリスト教の精神に基づく人格教育を基本理念とした教育は今も受け継がれ、豊かな「人間性・社会性・国際性」を培う教育によって、社会に貢献する有意な卒業生を送り出しています。

コロナ禍のため、60周年を記念した祝賀会などは開催しませんでした。地域や一般の方対象の「開学60周年記念公開講座(全7回)」や「中高生・学生のための頭をほぐす3つのレッスン」などを開催いたしました。

また学内では、本学卒業生の教職員によるチャペルタイムや開学60周年感謝礼拝などを行い、チャペルには多くの学生・教職員が集いました。

本学はこれからも、質の高い教育を提供し、時代や地域のニーズへ応え、さらなる未来へ歩み続けます。

- 1962(昭和37)年 北星学園大学開学
<文学部/英文学科、社会福祉学科>
- 1963(昭和38)年 南5条校舎焼失
- 1964(昭和39)年 大谷地校地のプレハブ仮校舎で講義開始
- 1965(昭和40)年 経済学部経済学科設置
ルイス&クラーク大学(米国)と姉妹校提携
ウェブスター・グロウプス・ホール(チャペル)竣工
- 1980(昭和55)年 文学専攻科、経済学専攻科設置
<文学専攻科/英文学専攻、社会福祉学専攻>、<経済学専攻科/経済学専攻>
- 1987(昭和62)年 経済学部経営情報学科設置
- 1992(平成4)年 北星学園大学大学院設置 <文学研究科/社会福祉学専攻(修士課程)>
- 1996(平成8)年 社会福祉学部設置<社会福祉学部/福祉計画学科、福祉臨床学科、福祉心理学科>
- 2000(平成12)年 大学院に社会福祉学研究科設置
<社会福祉学研究科/社会福祉学専攻(修士課程、博士[後期]課程)、心理学専攻(修士課程)>
- 2001(平成13)年 大学院に文学研究科、経済学研究科設置
<文学研究科/言語文化コミュニケーション専攻(修士課程)>
- 2002(平成14)年 文学部心理・応用コミュニケーション学科、経済学部経済法学科設置
- 2006(平成18)年 大学院の社会福祉学研究科心理学専攻を臨床心理学専攻に名称変更
- 2015(平成27)年 新C館竣工
- 2022(令和4)年 北星学園大学開学60周年
- 2023(令和5)年 社会福祉学部社会福祉学科設置
福祉計画学科福祉臨床学科の学生募集停止
福祉心理学科を心理学科に名称変更



1981年の大谷地キャンパス



現在の大谷地キャンパス



文学部英文学科1年北野花帆さん(バイオリン)と文学部英文学科1年笠原泰地さん(ピアノ)による学歌演奏



日高チャペレンのメッセージ

卒業生からのメッセージ

北星学園大学では、開学60周年を記念したチャペルタイムを行い、卒業生の教職員の方々から思い思いのメッセージが語られました。その中から、7月4日の片岡先生のメッセージをご紹介します。

佐柳文男先生(北星学園大学元チャペレン)から学んだこと

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 准教授

片岡 徹

私は一九九二年四月に文学部英文学科へ入学し、一九九七年三月に卒業した卒業生です。一九九五年には海外協定校の米国マンチェスター大学へ留学し、平和学に関する科目を中心に学びました。二〇〇八年四月より文学部心理・応用コミュニケーション学科の教員として着任し、専門は教育学と平和研究で、「現代教育論」、「国際教育論」、「平和学」を担当しています。

今日は、私が学生の時に出会ったチャペレンの佐柳文男先生から学んだことについて話します。実は、佐柳先生は二〇二二年三月に天に召されました。佐柳先生との出会いは、一年次にキリスト教I(新約聖書)を学んだことが最初です。在学中に仲良くしていた二人の友人は敬虔なクリスチャンだったこともあり、キリスト教についてとても身近に感じられるようになりました。また、大学での学びを通して平和学について関心を持つようになり、その中でも日本では新渡戸稲造に代表されるクエーカー教徒について関心を持つようになりました。平和への実践で広く知られるクエーカー教徒について、実は佐柳先生からその歴史などをチャペレン室で丁寧な講義を受けて頂きました。

学問としての平和研究の領域ではクエーカーの役割は大きく、代表的な研究者としてある米国ルイス&クラーク大学からの留学生として北星学園大学で学んだことがあり、私は現在も交流を続けています。また、私が大学院修士課程を過ごした英国ブラッドフォード大学大学院平和学研究科は、世界で最大規模となる平和・紛争・開発に関する教育研究の拠点の一つとして知られていますが、初代研究科長である米国ハーバード大学より招聘されたアダム・カール先生もまたクエーカー教徒でした。

さて、今から遡ること一〇年前に、酒井玲子先生(元学園長)を通して佐柳先生からメッセージを頂きました。「片岡徹氏」というのは、私が北星在職中に卒業した人物だと思えます。懐かしい名前を見て、感慨深いものがありました。あの片岡君が活躍していることを知って、本当にうれしく思います。「卒業してから何年も経っていたにも関わらず、私のことを覚えて頂いていたことに感動し、何よりも光栄に思いました。大変嬉しいことに、この二年後に北星学園大学で再会しました。

酒井玲子先生の橋渡しのおかげで、再び佐柳先生と交流をすることが出来ました。その後、ご自身が書いた「評論・戦後七十年、日本人の課題 文芸かわづ」をお送り頂きました。そこには、このような箇所がありました。「これからの日本人の課題は積極的平和を実現するための努力を続けることである。それは国と社会の各方面に巣食う構造的暴力を除去し、日本国内に居住するすべての人が基本的な人権と平和的生存権とを享受できる社会国家を建設することである。同時にそれは世界で不当な差別を受ける人が皆無になることを目指すことでもある。」

佐柳先生は生涯に渡って世界の平和について考え続けた先生でした。最近になり、かつてキリスト教Iのテキストの一冊であった偶谷三喜男「大学でなにを学ぶか」を読み返してみました。そこには、次のような箇所がありました。「大学にいる間、きみたちが専門と定めたことを学ぶとともに、人間とは何であるか、人生とは何であるか、という問いについても考えてもらいたいと思う。未来はきみたちの肩に担われているのだから。」

偶谷先生は、佐柳先生が国際基督教大学の学生だった時の先生ですが、恐らくこの箇所は当時の学生であった私を含めて、強く伝えたかったメッセージであったと想像しています。卒業生として北星学園大学に奉職していますが、私もまた偶谷先生のメッセージを学生達とともに大切な問いとして考え続けたいと思います。私が佐柳先生に教えて頂いたように、北星学園大学の大切な教育理念である「人間性」「社会性」「国際性」についてこれからも学生達と共に考え、そして共に北星学園大学の歴史を刻んで行きたいです。



新人会員の方々に 苦難の時代に 巣立つ皆さんへ



同窓会長 岡田 義明

ご卒業おめでとうございます。また、同窓会へのご入会を心から歓迎いたします。皆さんは友人達と別れ、全国各地に赴くことと思いますが、大学で得た友人は、生涯、同窓という絆で繋がります。同窓会は、同窓生相互の交流や母校の発展に寄与する活動に取り組んでいます。ぜひ同窓会の諸活動に参加され、これからの友人達との交流を楽しんでください。

さて、皆さんが学生生活を送られた時代は、新型コロナウイルスによるパンデミックとロシアのウクライナ侵略戦争という、世界史に記録される大きな出来事とともにありました。コロナ禍もウクライナ戦争も、収束の兆しはなく、今も世界を揺るがし、私たちの生活に大きな影響を与え続けています。

在学中、講義は一時期「遠隔授業」となり、サークル活動、体育大会、大学祭も2年間にわたり中断しましたが、本年度、辛うじて対面授業、体育大会や大学祭などが再開できたことは幸いです。

皆さんが巣立っていく時代は、不安と危機に満ちた時代となりましたが、厳しい時代の中では、私たちは深く考え、決断力を高め、忍耐をもって、明日に希望を繋ぎます。どうか本学で学んだこと、激動の時代から知ったことを生きる力とし、苦難の時代を生き抜いてください。皆さんの前途が、いつの日か、希望と平和に満ちたものとなるよう祈念いたします。

副会長小村知江子さん、駒ヶ嶺剛史さんが退任されました。

～長きにわたり、同窓会活動に貢献していただき、心から感謝申し上げます～

2022年10月の総会(書面決議)にて、役員改選が行われ、副会長の小村さんと駒ヶ嶺さんが退任されました。コロナ禍のため送別会等は開催できなかったため、10月6日の幹事会の中で、退任されるお二人に感謝を込めて花束贈呈を行い、ご挨拶をいただきました。その後、大学内の50周年記念ホールに移動し、幹事会メンバーで記念撮影を行いました。小村さんには短大が女子短期大学だった時代から、大変長く同窓会役員としてご尽力いただきました。また、駒ヶ嶺さんは次期は幹事として同窓会活動に従事していただきます。



退任される小村さんを囲んで(幹事会の短大卒メンバー)



幹事会集合写真 大学50周年記念ホールにて(中央が小村さんと駒ヶ嶺さん)

北星学園大学同窓会 2021年度会計決算・2022年度予算について

同窓会定期総会は毎年10月に開催し、収支報告や予算案を同窓生の皆様にご審議いただいておりますが、長引くコロナ禍のため、残念ながら2022年も対面で開催することができませんでした。そのため、同窓会役員および幹事会で議案について審議を重ねたうえで本学ホームページに掲載し、皆様からのご意見やご質問等を受け、結果についてもホームページにて報告いたしました。このような形での対応となりましたことをご理解いただけますようお願いいたします。

2021年度(2021年10月～2022年9月) 収支決算

【通常会計】		2022.10.11 総 会		2022.10.6 幹 事 会	
<収入の部>		予算	決算	差異(予算-決算)	備 考
前年度繰越金	8,396,857	8,396,857	0	預金(北洋銀行8,370,192)、現金(26,665)	
同窓会費	20,300,000	20,380,000	80,000	@20,000×1.019	
総会懇親会費収入	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため懇親会中止	
プロジェクト	0	33,560	33,560	コンサート募金	
利息等	0	0	0		
雑収入	0	0	0	ご祝儀等	
合 計	28,696,857	28,810,417	113,560		

<支出の部>

費 目	予算	決算	差異(予算-決算)	備 考
I. 事務費	4,240,000	706,179	3,533,821	
1. 会議費	400,000	84,489	315,511	幹事会(43,943)、三役会(2,450)、役員選考委員会(14,491)、三役・支部長懇談会(3,605) 他
2. 交通費	3,500,000	439,780	3,060,220	幹事会(278,540)、三役会(50,460)、会計監査(13,680)、役員選考委員会(57,960)、支部懇親会派遣(37,140) 他
3. 通信費	130,000	68,010	61,990	郵送料・切手(65,590)、慶弔電報(2,420)
4. 支払報酬手数料	70,000	37,865	32,135	振込等手数料(32,395)、残高証明書(3,270) 他
5. 消耗品費	50,000	65,064	△15,064	事務消耗品(同窓会封筒:57,310)、同窓会室備品(6,104)、役員名刺(1,650)
6. 印刷費	70,000	10,971	59,029	リソグラフ、コピー機印刷代
7. 雑費	20,000	0	20,000	同窓会費返還(0名)
II. 事業費	16,950,000	15,615,088	1,334,912	
1. 行事費	2,700,000	1,397,640	1,302,360	卒業生記念品(1,353,200)、退職者記念品(40,000)、奨励金授与式(4,440)、懇親会中止
2. 同窓会文庫費	400,000	400,000	0	寄贈図書
3. 補助費	5,900,000	5,341,722	558,278	各支部補助(4,412,000)、周年事業費:(旭川支部 200,000)、北星英研(150,000)、学祭(100,000)、体育祭(29,722)、サークルOB通信費(0)、派遣留学生への支援(450,000)
4. 奨励費	500,000	500,000	0	@100,000円×5名
5. 奨学費	0	0	0	大学の自宅外通学支援奨学金制度の廃止に伴い、支出なし。奨学費として北洋銀行(普)に積立
6. 会報発行費	5,600,000	6,476,532	△876,532	大谷地だより印刷代(1,256,090)、郵送料(3,162,380)、宛名印刷・封入作業・目隠しシール・住所変更がき印刷等(2,046,062) 他
7. 業務委託費	750,000	667,865	82,135	名簿整備・保管料
8. プロジェクト等活動費	600,000	331,329	268,671	消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9. 寄附	500,000	500,000	0	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)
III. 予備費	5,006,857	0	5,006,857	
IV. 資金積立金	2,500,000	2,500,000	0	北洋銀行(普)に積立 内訳:奨学費2,500,000円
V. 次年度繰越金	0	9,989,150	△9,989,150	預金(北洋銀行9,825,327)、現金(163,823)
合 計	28,696,857	28,810,417	113,560	

【活動資金積立会計】

金融機関	2020年度末(2021.9)決算額	2021年度利息	2021年度積立額	2021年度取崩額	2021年度末(2022.9)決算額	備 考
合 計	71,244,586	996	2,500,000	0	73,745,582	

2022年度(2022年10月～2023年9月) 会計予算

【通常会計】		2022.10.11 総 会		2022.10.6 幹 事 会	
<収入の部>		2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備 考
前年度繰越金	8,396,857	8,396,857	9,989,150	預金(北洋銀行9,825,327)、現金(163,823)	
同窓会費	20,300,000	20,380,000	20,300,000	@20,000×1.015(2022.10.1現在)	
総会懇親会費収入	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022年10月の懇親会中止	
プロジェクト	0	33,560	20,000	コンサート募金	
利息等	0	0	0		
雑収入	0	0	0	ご祝儀等	
<収入計>	28,696,857	28,810,417	30,309,150		

<支出の部>

費 目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備 考
I. 事務費	4,240,000	706,179	5,060,000	
1. 会議費	400,000	84,489	1,200,000	幹事会(250,000)、部会(830,000)、役員等打合せ(60,000)、ご祝儀(60,000) 他
2. 交通費	3,500,000	439,780	3,500,000	幹事会(700,000)、総会等派遣:本部(1,000,000)、支部(900,000)、部会(400,000) 他
3. 通信費	130,000	68,010	130,000	郵送料・切手(80,000)、慶弔電報(30,000) 他
4. 支払報酬手数料	70,000	37,865	70,000	振込手数料、残高証明書発行手数料、他
5. 消耗品費	50,000	65,064	70,000	事務消耗品 同窓会備品 他
6. 印刷費	70,000	10,971	70,000	リソグラフ、コピー機印刷代
7. 雑費	20,000	0	20,000	同窓会費返還等
II. 事業費	16,950,000	15,615,088	18,150,000	
1. 行事費	2,700,000	1,397,640	2,700,000	卒業生記念品(1,600,000)、懇親会(0)、退職者記念品(150,000)、永年表彰記念(200,000)、奨励生の集い(10,000)、ホームカミングデー 他
2. 同窓会文庫費	400,000	400,000	400,000	寄贈図書
3. 補助費	5,900,000	5,341,722	5,900,000	各支部補助(4,407,000)、周年事業費:(0)、英研・学祭・体育祭補助(400,000)、サークルOB通信費(60,000)、派遣留学生への支援(1,000,000) 他
4. 奨励費	500,000	500,000	500,000	@100,000×5名(奨励金)
5. 奨学費	0	0	0	大学の自宅外通学支援奨学金制度の廃止に伴い、支出なし。奨学費として北洋銀行(普)に積立
6. 会報発行費	5,600,000	6,476,532	6,800,000	印刷代(1,400,000)、郵送料・宛名印刷等(5,300,000) 他
7. 業務委託費	750,000	667,865	750,000	名簿整備・保管料
8. プロジェクト等活動費	600,000	331,329	600,000	消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9. 寄附	500,000	500,000	500,000	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)
III. 予備費	5,006,857	0	4,599,150	
IV. 資金積立金	2,500,000	2,500,000	2,500,000	北洋銀行(普)に積立 内訳:奨学費2,500,000円
V. 次年度繰越金	0	9,989,150	0	
<支出計>	28,696,857	28,810,417	30,309,150	

【活動資金積立会計】

金融機関	2021年度末(2022.9)決算額	2022年度積立額	2022年度取崩額	2022年度末(2023.9)見込額	備 考
合 計	73,745,582	2,500,000	0	76,245,582	

役員改選が行われました!

大谷地だより85号に掲載しましたとおり、2022年1月～4月に北星学園大学同窓会役員(会長・副会長)候補者の募集を行いました。その後、役員選考委員会にて候補者を選考し、6月の幹事会、10月の書面決議での総会を経て、新役員が決定しました。岡田義明会長と赤塚善彦副会長は二期目の再任、新たに千葉英二副会長(元千歳支部長)、清水一江副会長(元幹事)が信任され、新体制での同窓会がスタートしています。

役 職	氏 名	卒業年月
会 長	岡 田 義 明	英 1974.3
副 会 長	赤 塚 善 彦	経 1979.3
〃	千 葉 英 二	経 1980.3
〃	清 水 一 江	短家 1987.3
幹 事	斎 藤 美 代 子	短英 1967.3
〃	有 澤 睦 子	英 1974.3
〃	湊 史 郎	英 1976.3
〃	森 谷 恭 一	英 1978.3
〃	池 田 雅 子	社 1982.3
〃	北 本 佳 子	短家 1984.3
〃	鈴 木 克 典	情 1991.3

役 職	氏 名	卒業・修了年月
幹 事	高 橋 章	経 1996.3
〃	岩 本 学	社 1996.3
〃	伊 藤 貴 子	短英 1996.3
〃	牧 田 浩 一	社 1997.3
〃	畠 山 美 保	短英 1996.3 大英 1998.3
〃	若 原 志 津 子	情 1998.3
〃	林 孝 之	社 1997.3 院社 2004.3 修了
〃	駒 ヶ 嶺 剛 史	経 2005.3
〃	今 井 綾 子	法 2010.3
〃	松 本 太	法 2015.3

役 職	氏 名	卒業年月
旭川支部長	西 岡 将 晴	経 1998.3
帯広支部長	成 田 啓 介	社 1990.3
北見支部長	結 城 亨	経 1982.3
東京支部長	遠 田 嘉 憲	経 1969.3
函館支部長	畑 中 博 史	社 1978.3
釧路支部長	角 隆 史	経 1996.3
千歳支部長	北 村 昌 樹	経 1989.3
会計監査	瀬 部 祐 太 郎	情 2014.3
会計監査	丸 山 匡 恵	短生教 1997.3

HOKUSEI 支部活動報告

旭川支部 旭川支部設立40周年記念式典を終えて



昨年8月27日、旭川アートホテルにて、岡田同窓会長、秋森経済学部長をお迎えし、簡易式ではありますが、支部設立40周年記念祝賀会を無事に終えることができました。当支部は、1982年、旭川市及び近郊に在住する当時の卒業生が中心となり、大学初の同窓会支部として設立されました。その後、大学の発展と共に卒業生の数も増え、現在では1,200人を超える卒業生が支部会員として登録しています。

この度、40周年記念事業として、これまで当支部が発行してきた支部同窓会誌「サマリタン」や写真で、今まで支部が辿ってきた歴史を振り返りながら、諸先輩方が積み上げてきた事績を今一度確かめ、支部活動を記録し保存することを目的に、記念冊子の発刊を行いました。本来であれば、一人でも多くの同窓生、各支部、恩師、大学、そしてこの活動にかかわってこられた方々をお迎えし、講演会などを盛大に行いたかったのですが、コロナ禍は、依然終息しないため、通常の懇親会に合わせた簡易式での式典とさせていただきました。この場をお借りし、ご協力をいただきました皆様に御礼を申し上げます。



北見支部 今年度の北見支部活動について

当支部は、昭和62年12月に3番目の同窓会支部として設立し、30年を超える活動を続けています。

今年度の総会は、昨年8月28日(日)に、北見市内の『ホテル黒部』において、同窓会支部会員15名、大学からは中村副学長を来賓にお招きして開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら懇親会は開催できず、次回こそは例年通りの総会、懇親会で会員間の世代を超えた交流を深められるような場となることを願って止みません。

今後も、同窓会本部・大学からのご支援をいただきながら、知床から雄武までの長く広いオホーツクに点在する『北星』の絆を、年に1度太い線として描けることができるよう、世代を超えた楽しい支部活動を目指してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



次回の北見支部同窓会総会・懇親会は、8月26日(土)を予定しています。オホーツク管内在住の同窓生の皆さん、北見支部会員参加料は、1,000円です！年に1度、北見のグルメを味わいながら、学生時代を振り返りにきませんか。(ご案内が届かない場合はご連絡願います。)

東京支部

東京支部は昨年11月12日、第34回総会を開催することが出来ました。

感染状況がまだ落ち着いた状況下ではありましたが、2年間対面での総会が出来なかったこともあり、支部会員の皆さんと直に交流出来る総会を何とか開催したいとの思いからの決断でした。

懇親会を中止したことも影響し、参加者は、13名と少数ではありましたが、総会後は、ティータイムの時間が設けられ、多くの支部会員の方々から寄せられたメッセージが紹介され、また、参加された支部会員の方々の近況や思いを交流しました。

会場は会の進行と共に穏やかで暖かい空気に包まれ、改めて同窓会の素晴らしさを実感することが出来た総会となりました。

東京支部では、総会参加の働きかけや、大学の諸先生のご招待や他支部との交流を強めること等々の議論を精力的に行なっています。今後に期待して下さい。



千歳支部 2022年千歳YOSAKOI祭に参加の「井原水産&北星学園」チーム激励会を開催しました!

7月16日・17日に千歳市街中心部のグリーンベルト「公園」を会場として「スカイ・ピア&YOSAKOI祭」が開催されました。「スカイ・ピア&YOSAKOI祭」は、全道各地から集合したYOSAKOIチームが白熱した演舞を披露する千歳の夏を盛り上げる一大イベントです。3年ぶりに開催となる今年、「井原水産&北星学園」チームのエントリーがあり、当日は、総勢66名の学生によるキレのある扇子振りや掛け合いが披露され、祭りを盛り上げてくれました。

千歳支部では現役学生との交流と激励を行い、支部会員一丸となりチームを応援しました。



各支部総会・懇親会のお知らせ

各支部にて総会・懇親会が開催される予定です。お近くにお住まいの方はぜひお越しください。なお、コロナ禍の状況によっては、開催の変更や中止する場合がございます。日程が近づきましたら大学ホームページにてご確認ください。

支部名	日程	場所
北見支部	8/26(土)	未定
旭川支部	8/27(日)	アートホテル旭川
帯広支部	9/2(土)	未定
釧路支部	9/3(日)	未定
函館支部	9/9(土)	未定
東京支部	11/11(土)	私学会館 アルカディア市ヶ谷
千歳支部	11~12月	未定

同窓会各支部連絡先

同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。

- 旭川支部(1983年発足) 支部長 西岡 将晴
090-7648-1997 kembuchi2000@yahoo.co.jp
- 帯広支部(1985年発足) 支部長 成田 啓介
0155-56-4706(特養礼内寮) mansei@cameo.plala.or.jp
- 北見支部(1987年発足) 支部長 結城 亨
連絡先は事務局 境達也 090-3893-4847
tatsuya.sakai@city.kitami.lg.jp
- 東京支部(1988年発足) 支部長 遠田 嘉憲
04-2949-6726 ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp
- 函館支部(1988年発足) 支部長 畑中 博史
090-3899-2485 hiro-121@sea.ncv.ne.jp
- 釧路支部(1989年発足) 支部長 角 隆史
0154-65-9812 kaku4744@msn.com
- 千歳支部(1996年発足) 支部長 北村 昌樹
080-5727-9197 masaki9197@gmail.com

北星学園大学同窓会表彰者報告

同窓会では、毎年10月開催の懇親会の中で、同窓会の本部または支部役員として10年間協力してくださった方を表彰しています。今年はコロナ禍で懇親会を開催できなかったため、大谷地だよりに掲載し報告いたします。

なお、表彰者の方には、表彰状と記念品を郵送にて贈呈済みです。

該当 対象:2020年度(2020.10~2021.9)までの役員経験年数から算出
表彰:2022年10月

表彰者 旭川支部 下野 敏雄 様
東京支部 斉藤 翠 様
本部 駒ヶ嶺剛史 様
馬淵 慎吾 様 以上4名

新企画プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサート等も回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただき心より御礼申し上げます。
今後も皆さまに楽しんでいただけるような充実した企画にしたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

コンサートの申込方法について

パイプオルガンコンサート

申込み受付期間:5月15日(月)~5月25日(木)

定員になり次第締め切らせていただきます。

「パイプオルガンコンサート参加希望」と、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数を明記の上、北星学園大学ホームページの「申込フォーム」、電話、E-mailでお申し込みください。事前の整理券等は発行しませんので、お申し込みされた方は当日直接会場へお越しください。

なお、新型コロナウイルスの感染状況により、中止する場合がございます。その際は、本学ホームページにてお知らせいたしますので、ご了承ください。

お申し込み・問い合わせ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

北星学園大学同窓会事務局

同窓会プロジェクト係

TEL 011-891-2731

メール:dousoukai@hokusei.jp



お願い

感染予防対応として、間隔を空けての座席になります。
未就学児の入場はご遠慮ください。
公共の交通機関でお越しください。

パイプオルガンコンサート ～音楽家たちの視線の先には～

よしむらさとこ
オルガニスト吉村怜子さんをお迎えします。どうぞお楽しみ下さい。

日時:2023年5月27日(土) 午後2時から 会場:本学チャペル



プロフィール

東京藝術大学音楽学部器楽科(オルガン専攻)卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。フランスのリヨン国立高等音楽院オルガン科卒業、同音楽院修士課程修了。オルガンを大野敦子、小林英之、深井李々子、廣野嗣雄、早島万紀子、廣江理枝、フランソワ・エスピナス、リズベス・シュルンベルジェの各氏に師事。日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員、札幌音楽家協議会会員。

予定演奏曲目

バッハ:ピース・ドルグ ト長調 BWV572

モーツァルト:アダージョ ヘ長調 KV616

メンデルスゾーン:オルガン・ソナタ 第1番 Op.65 ほか

コンサート報告

マクシミリアン弦楽四重奏団 コンサート

昨年9月24日(土)、桐原宗生氏(第一ヴァイオリン)、土井奏氏(第二ヴァイオリン)、物部憲一氏(ヴィオラ)、武田芽衣氏(チェロ)の札幌交響楽団メンバーをお迎えし、マクシミリアン弦楽四重奏団コンサートを開催いたしました。「モーツァルトと「パパ」ハイドン」と銘打ったこのコンサートは、そのタイトルどおり、モーツァルトとハイドンだけのプログラムでした。モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」に始まり、ハイドン「弦楽四重奏曲 第67番 二長調 ひばり」、休憩を挟んで、ハイドン「弦楽四重奏曲 第1番 変ロ長調 狩」、そして最後にモーツァルト「弦楽四重奏曲 17番 変ロ長調 狩」。モーツァルトとハイドンの「狩」を続けて聴く機会はなかなかないのではないのでしょうか。

物部氏は「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」とは、「ひとつの小さな夜の曲」という意味だということ、また、モーツァルトはハイドンを父親のように慕い、ハイドンが土地を離れる時泣いて引き留めたという逸話を話してくださいました。

アンケートに「音に「切れ」があって心にしみわたる」「「ひばり」は力強さの表現、



特に第一ヴァイオリンに感動」など寄せられました。

典雅な音色とでもいうような、弦の力を感じさせる美しい調べを堪能したひとときでした。

オペラ「カプレーティ家とモンテッキ家」 ～もう二度とわたしを離さないで～

昨年12月10日(土)オペラ「カプレーティ家とモンテッキ家」ソプラノ 菅原弥生氏(ロメオ)、ソプラノ 柳生たみ氏(ジュリエッタ)、語り 工藤康司氏(ロレンツォ)、ピアノ 吉野智子氏、黙役 島津智子氏をお迎えして開催いたしました。

このオペラはヴィンチェンツォ・ベッリーニの作曲で、1830年3月11日ベネチアで初演されました。ロメオ役は作曲家が初演でメゾソプラノに歌わせるべく作曲したということです。二幕のオペラが狭いチャペルの空間でどのように演奏されるか、おいでくださった皆さまも興味がおありだったかと思います。

アンケートに「少ない人数でこれだけの世界が作られるということがわかって感動しました」「通路を使う演出もよかったです」「ロメオとジュリエットを色々観たけれど、新しい感覚で観ました。昔、ペローナのジュリエットの家に行ったことを思い出しました。最後涙が出ました」「あの歌唱力は素晴らしい。非現実的な時間・空間を味わいました。ピアノの演奏も素晴らしかったです」など寄せられました。

アンコールはモーツァルト作曲「フィガロの結婚」より「開けてよ!早く!開けて!」の二重唱とレハール作曲「メリーウィドウ」より「くちびるは黙しても」の二重唱が演奏されました。

コロナ禍で3年ぶりにクリスマス企画としてお届けすることができ、本当に良かったと思います。来年度は人数制限なく開催できることを心から願っています。



北星オープンユニバーシティ 2023年度前期講座のご案内

北星オープンユニバーシティでは、2023年度も卒業生や一般の方向けの講座を以下の日程で募集予定です。

募集する講座の詳細については、4月以降に北星オープンユニバーシティのホームページにてご案内する予定ですので、興味のある方はぜひホームページをご覧ください。

【募集期間】 5月9日(火)~5月23日(火)

【講座】 語学系:英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ラテン語、スペイン語など
その他教養系の講座も開講準備中です。

【受講料】 卒業生:15,000円(1回90分×10回)

一般:18,000円(1回90分×10回)

*詳細は北星オープンユニバーシティのHPをご覧ください。

【問合せ先】 社会連携センター(社会連携課内)
メールアドレス
open.univ@hokusei.jp



日本学生支援機構奨学金を 貸与されていた同窓生の皆様へ

(大学学生生活支援課から奨学金貸与利用された一部の同窓生へのお知らせがあります)

在学中に日本学生支援機構奨学金を貸与されていた同窓生の皆様は、卒業年の10月から、口座振替により返還開始となっております。

新規卒業生は、今年10月から返還が開始になりますが、初回引落しができないと、延滞となり、その状態から抜け出せなくなる恐れがあります。

返還が困難な場合は日本学生支援機構の相談窓口(TEL 0570-666-301)にお問い合わせください。皆様の返還金は、次の奨学金の原資となります。

本学としても、後輩学生のため、皆様に格別のご留意をお願い申し上げます。

北星学園大学開学60周年 記念募金のお願い

寄付額

個人1口2万円

1口に満たない金額でも
喜んでお受けいたします。

※本寄付金は寄付金控除の対象となります。
※本寄付金は任意です。

寄付の使途 寄付者が使途をお選びいただけます。

●国際交流・留学支援の充実

●アクセシビリティ支援の充実

北星学園大学のアクセシビリティ支援室では障害やそのほかの理由で困難を感じている方たちの相談にのり、合理的配慮に基づいて支援を行っています。



返礼品 寄付金額に応じて返礼品をお贈りさせていただきます。

★1口(2万円)以上 北星オリジナルフェアトレードコットンバッグ

★2口(4万円)以上 大学開学60周年オリジナル記念品(いづれか一つ)

①北星オリジナルスパークリングワイン(数量限定:200本程度)

②お菓子のドルチェヴィータ オリジナルスイーツセット

寄付のお申し込みはコチラから
https://www.hokusei.ac.jp/60th_donation/





北星学園の28年を振り返る
文学部 教授
ブルースW. デビッドソン

北星学園大学に赴任してから今年で28年になりました。北海道へ来る以前の職歴と合わせれば私は退職を迎えるまでに35年近く大学教育に携わったことになりました。
北星学園大学で自分が担当した数々の科目のうち、特に教え甲斐のあったのは「Christianity and Literature (キリスト教と文学)」と「Critical Thinking (クリティカルシンキング)」だったと言えます。大学を経て社会に進出する若者たちが、世間や時代のコロコロ変わる流行りの「常識」に振り回されず、権力者やメディアに洗脳されず、永遠に変わらない真理や価値を見分けて守りつづけるための術を紹介するというのが目標があったからです。

感謝して思い出すのは、北星学園に来たばかりの頃、私が大学の宣教師を務めていたおよそ7年間、その冷静な知恵と温かな心で私を応援してくれた大学チャプレンの佐柳先生です。私はチャペルで聖書を教える機会が与えられて、特に教え甲斐のあった経験でした。また、大学のスタッフの皆さんの労力と親切な対応に心から感謝しています。長い間お世話になりました。

一番感謝したいのは学生たちです。明るく熱心に授業に励んでいました。それに非常にフレンドリでした。学生に対する懐かしき記憶はたくさん残っています。ぜひ過去の学生たちにお会いが出来ます。コンタクトしてください！これからもよろしくお祈りします。



変転の人生
経済学部 教授
中村 一浩

結局私の勤続年数は39年間となった。縁起の良い「9」数字の倍数である。この間に腰椎と頸椎の手術を各一回受けたが、今のところ内臓の異変は検知されていないのは幸いである。反面、6年前から頭髪の退行現象に拍車がかかっていることは、誠に遺憾である。さて、過去を一瞥すると、「雑役」と多くの大学人が忌み嫌うお役目を累計で何と18年間も(神様により?)与えられてきたことに気付いた。そういう巡り合わせだったのだろうか。

19歳の私が興味を抱いた労働組合も、今やとことん墮落してしまっている。選挙の時だけ(労働)貴族を当選させる為に頑張るという体たらくに見えるのは情けない。今や集团的労使関係から個別的労使関係の時代に様変わりしたのである。1984年の入職当初から担当してきた「社会政策論」などの講義内容も、時代と共に変容を余儀なくされた。60年ほどの間に社会の有様が著しく変貌を遂げた為、諸制度の機能不全が顕在化し、講義や演習の中心は、少子化の克服に尽きることとなった。我が子が結婚に大して魅力を感じていないようなので、偉そうに言えないが、皆が他人事のように社会に日々生起する諸問題を眺めているようでは、改善は期待薄である。

加えて、「世界史」にも触れておきたい。もともと私は好きで法学部に入学したのではない。歴史を専攻したいと父に促されたこと、「食べていけない」とあえなく却下されたこと。その後大学院で共産党員の巣窟に(徹頭徹尾)ノボリだつた私は、知らずに入力込んでしまし、仕方なく文学研究科の西洋史専攻に入り直したことにより再び歴史学との縁が復活したのである。だが、そこでは父の御託を現実として目の当たりにすることとなった。その約40年後に歴史の講義を(今年度は2科目も)担当することになるうとは！軍事史学会会員として講義に臨めたのは、奇縁という外はない。



32年間の思い
経済学部 教授
中屋 晃

今あらためて思い返してみると、1991年4月から北星学園大学で勤務するようになって32年が経過したことに気づきます。その間に多くの学生が卒業し社会へとはばたき、それぞれの持ち場で奮闘されてきたことでしょうか。私が授業で主に担当したクラスは大学共通の外国語科目「英語」ということで、所属する経済学部の学生のみならず、他学部の学生のクラスを教えることもありました。いずれの学部でも1・2年次学生が中心となるクラスであったため、卒業後の進路がどうなつたかについてはほとんど把握できておりません。そんな中で卒業生の活躍が実感できるのは、社会での経験を積み教員あるいは職員としてキャンパスに戻ってきた同じ職場の仲間たちを通じてです。いずれも優秀な方たちで、一緒に仕事をし、いろいろな面で助けられました。特に印象深いのは、学内TOEFL試験で、受験者受付、会場の準備、テスト資料の調達、音響チェック、問題冊子・解答用紙の配付・回収などの業務を適確に遂行してくれた社会連携課の人たちです。

学生のサークル活動においては柔道部の顧問として夜遅くの練習や大会の引率で部員と貴重な時間を過ごせたのも良き思い出として強く残っております。大会参加を目標に黙々と練習を続けた部員の中には、警察官、自衛官、団体職員として活躍している卒業生もいます。柔道部については残念ながら、少子化の影響もあつてか部員数がついにゼロに陥り休部せざるを得ませんでした。いつの日か柔道部が復活することを願っております。



感謝と共に
経済学部 教授
棚瀬江里哉

一九八七年に4条校地にあつた北星学園女子短期大学英文学科に赴任しました。その際は当時英文学科長、のちに短大校長となられた黒川武先生に非常にお世話になりました。以来、大学に移り住みましたが三十五年間北星で英語関係科目を教えて参りました。短大では私の専門と関わる英米文学関係と英文法関係の科目を主に担当しました。特に印象に残っているのがゼミです。児童文学、洋楽、教職関連などを扱っている学生たちの発表や討論に感心したりウケたり、時には授業外でも語り合ったことを今でもよく覚えております。大学では一般教育科目「英語」を担当することになり、それまでとは違つた内容、教え方が求められることを最初は不安に思つていましたが、授業中に学生たちとの直接のコミュニケーションがより多く持てるようになりこれはまた楽しいものでした。

教育、研究とは別の面で北星は私にとって大きな意味を持つております。それはキリスト教との関わりです。クリスチャンホームで育ちながら一旦教会から離れていた私がキリスト教と再び結びついたのは、北星のキリスト教主義のおかげです。最初はノンクリスチャンとしてチャペルタイムに出席し、奨励もたまに担当しました。尊敬すべきクリスチャン同僚との出会いもありました。これらをきっかけに三四歳にして遅い洗礼を受け今に至っています。これらすべてに感謝すると共に、北星学園が今後もキリスト教主義学校として発展し続けることを祈つております。

退職される教職員の方々からのメッセージ



退職にあたって
社会福祉学部 教授
豊村 和真

1983年11月10日9:30頃にタクシーに乗り込み、行き先を北星学園大学と告げると、運転手は他のタクシーとしばらく連絡を取り合った後に、場所が大谷地と分かれ、車を発進させました。採用面接の手紙を受け取ったときに迂回にも場所を確認していませんが、まさかプロのタクシー運転手が住所を把握していない大学なのかと、ちよつと不安になりました。公的な面接はつづがなく終了したのですが、(諸般の事情があつたせいで)夕方方に再度、面接を担当された社会福祉学科の先生方から、すそぎの呼び出され、本当にやる気があるのかと、ダメ押しをされたこともついでに思い出しました。その当時の北星のイメージは女子中高・女子短大であり、大学については一般には所在地すらよく知らなかったのではないのでしょうか。それが三十数年経て、心理学関係についてのみ言えは1987年に心理学コースが、1996年に福祉心理学科が誕生し、来年度はついに心理学科へと大きく成長する変遷には感慨深いものがあります。

赴任直後に、それまで学生・院生として在籍していた国立大学との違いを感じたことは、先生方が垢抜けていることでした(あ、一部の先生を除きます)。そして、事務職の人たちが学生に最も有利になるように、そして教員を立てつつ処理を進める、まさに学校事務の鏡、という人が多かつたことです。そして、学生たちは、純粋で自らの能力を伸ばすことに一生懸命だつたことでしょうか。ふり返つてみれば、大学自体は、大きな変貌を遂げつつある中であつても、自分自身の将来の夢の邪魔をせずに一緒に学びあつて遊ぶことを毎年繰り返して、あつという間に退職することになりました。一炊一夢のような教員人生でした。これからも北星の益々のご発展を祈つております。



退職にあたって
短期大学部 教授
ロバートE. ゲテイングス

1992年に北星学園に入職してから30年間、短期大学部英文学科のチームメンバーとして、様々な方との出会いと学びを経験させて頂いた事を、とてもありがたく思っております。30年間の教員生活で、戸惑う事もありましたが、その度に、いつも周りの方たちのサポートを受けながら、楽しく教員生活を送ることが出来ました。

また、教員として学生の人生の一コマに関わり、目標・夢・悩みを共有させて頂いたことは、私の宝物となっております。北海道で生活をしていると、様々な場所で北星学園の卒業生が働いており、「先生!!」と声をかけてくれ、北星学園時代の懐かしい話をしてくれる度に、私をとてもうれい気持ちにさせてくれます。そして、卒業生が北星学園の思い出を大切にしている事と、社会に出て立派に働いている姿を見るたびに、とても誇らしい気持ちにもさせてくれます。

私も北星学園での教員生活を今年の春に卒業します。今までの卒業生同様、北星学園で過ごした時間・思い出を大切に、誇り感じながら、次のステージへ新たな一歩を踏み出そうと思っております。教員と学生が一緒になつて学び、学生の目標や夢に向かって努力が出来た環境を整えていく北星学園で仕事をさせて頂き、本当に感謝しております。長い間、大変お世話になりました。有り難うございます。末筆ではございますが、同窓会のご活躍と北星学園大学同窓会のご発展を心から祈念しております。



スミス・ミッションセンターに携わって
司書課
松本 守

私は、1987年の8月1日に採用され、総務課と司書課で約35年勤務させていただきました。その間総務課で約10年携わつた、スミス・ミッションセンター(SMC)での業務は特に印象深いものでした。SMCでは、建学の精神であるキリスト教を継承し実践する為、様々な活動を行っております。授業期間中の月曜・金曜に行われるチャペルタイム(礼拝)をはじめ、講演会・コンサート・クリスマス礼拝等が開催されており、私はこれらを通じて、様々な方々のお話を伺ったり、様々な音楽家の演奏に触れ、とても刺激を受けました。

普通の学校では、知識や技術・技能の習得が中心で、このような人間性を育むイベントに触れる機会は少ないと思います。そういった意味では、本学のSMCの活動は、チャペルタイムを中心に、学生に自分の進むべき進路や生き方についてのヒントを与え続けていると思っております。

本学の学生がこれらの活動を通して、人間性を高め、社会へ巣立つて活躍して欲しいと願っております。長い間お世話になりました。そしてありがとうございました。



彩り豊かな
出会いに感謝
就職支援課
長澤 史栄

1983年に入職し40年、その約半分にあたる21年間を女子中学・高等学校の家庭科実習助手として、後半19年を大学の司書課・就職支援課で勤めさせて頂きました。在職中、職務の大半を「可能性の塊」ともいべき生徒・学生と直接関わり、成長の一端を見守らせていただけたことは私にとってこの上ない幸せでした。

大学を巣立つた卒業生からは、結婚式にお招きいただいたり、かわいらしいお子様を連れて来学してくださつたりと、たくさんのお喜びのサプライズプレゼントもいただきました。日頃の就職支援業務においては、卒業生にお力をお借りする場面も多々ありました。特にOBOGのお話を伺うキャリアガイダンスにおいては、北星での学びにプライドを持ち、生き生きと仕事に向き合う先輩の姿に自分の未来を重ね、進むべき路を見出す学生も多数おり、そこには間違いなく、連続と受け継がれる「北星スピリット」がありました。また、各支部で行われる同窓会総会では、様々な年代の卒業生との対話を通し、「信念に基づく愛」によって創られた北星学園は、温かく大きな愛に守られていることを身をもって感じる事が出来ました。

多くの生徒・学生、教職員、そして卒業生のみならず、お会いした、私の人生における掛け替えのない宝物でありエネルギーでした。関わつたすべての方々に感謝申し上げます。末筆ではございますが、同窓会のみならずご活躍と同窓会のご発展を心よりお祈り申し上げます。

